



ムルシア大学

The University of Murcia

●学部学生 31,000人 ●大学院生 3,300人 ●教職員 2,500人 ●留学生 300人

ホームページ <http://www.um.es/>

交流協定締結年月日：2010年12月9日 主管学部：教育学部



旧市内中心部にある大聖堂の昼と夜



大通りのイルミネーション

国際交流の特色

ムルシア大学は1915年に創設されたスペインで10番目に古い大学で、全学生数3万を超える伝統校である。教育学部、法学部、経済および経営学部、医学部、産業工学部のほかに、生物学部、化学部、獣医学部など24学部と、5つの付属施設、17の図書館および関連施設がある。キャンパスは市中心部にあるLa Mercedキャンパスが最も古く、教育学部や化学部のあるEspinardoキャンパスはそこから北に5kmほど離れたところにある。Espinardoキャンパスまでは路面電車が通っており、利便性が向上した。ムルシア大学ではスポーツも盛んであり、Espinardoキャンパスにフットボール、ラグビー競技場、体育館、テニス、スカッシュコート、屋内プールなど、多くの施設がある。

教員からの声

ムルシア大学のあるムルシア（自治）州はスペインの南東部、アンダルシア州、カスティーリャ・ラ・マンチャ州、バレンシア州に挟まれた所に位置し、地中海に面しています。州都ムルシア市は人口約44万人でスペイン第7位、衛星都市を含めたムルシア都市圏は69万人で、都市圏としてはスペイン第12位です。歴史も古く、ムルシア州2番目の規模の町であるカルタヘナの町は、カルタゴ人が海岸に貿易拠点を築き、ローマ人によって「カルタゴ・ノヴァ」と呼ばれるようになったことに由来しています。ここは、ローマ帝国時代、カルタゴの将軍ハンニバルが治めていた港町で、第2次ポエニ戦役の舞台でした。ムルシア州は地中海性気候で、温暖な冬、暑い夏が特徴です（年間平均気温は18℃）。年間降水量は300mmから350mmとわずかで、年間の晴天日は120日から150日もあります。温暖な気候を生かし、レモンなどの果実栽培や生花などの栽培が盛んです。ムルシア大学は、研究水準も非常に高く、日本の大学との交流を強く希望しており、毎年、留学希望の学生もいますが、まだ、実現はしていません。両大学間においてさらなる活発な交流が期待されています。

教育学部教授 高木 由美子



La Merced キャンパス中庭と入り口



ムルシア大学総長室にて



Espinardo キャンパス